

地域福祉計画策定のための  
民生委員・児童委員アンケート調査結果

台東区 福祉部 福祉課

## I 調査の目的

区民や事業者、関係機関、地域の様々な主体が相互に協力し、地域福祉を推進するための計画である「台東区地域福祉計画」を策定するため、民生委員・児童委員の皆様のご意見を把握し、計画の参考とする。

## II 調査の概要

(1) 調査対象数

区内民生委員・児童委員 198名

(2) 調査方法

民生委員・児童委員協議会にてアンケート用紙を直接配布・回収

(3) 調査期間

令和4年4月14日(木) 配布

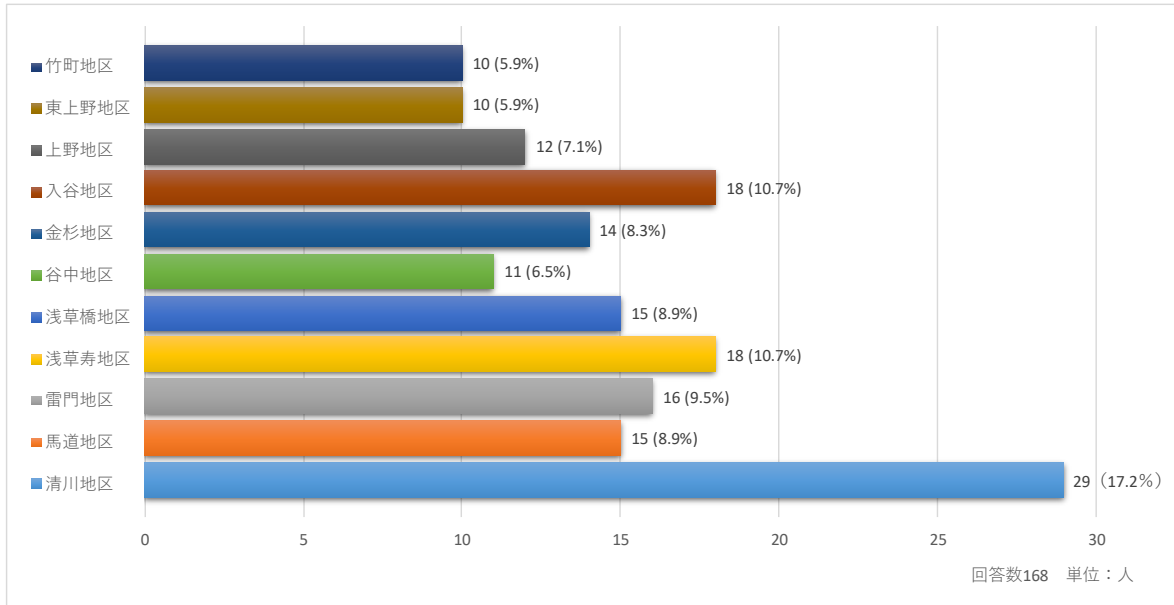
令和4年5月18日(水) 回収

(4) 調査票回収数及び回収率

| A:調査対象数 | B:回収数 | C:回収率<br>( $B/A \times 100$ ) |
|---------|-------|-------------------------------|
| 198名    | 168名  | 84.8%                         |

### Ⅲ 調査結果

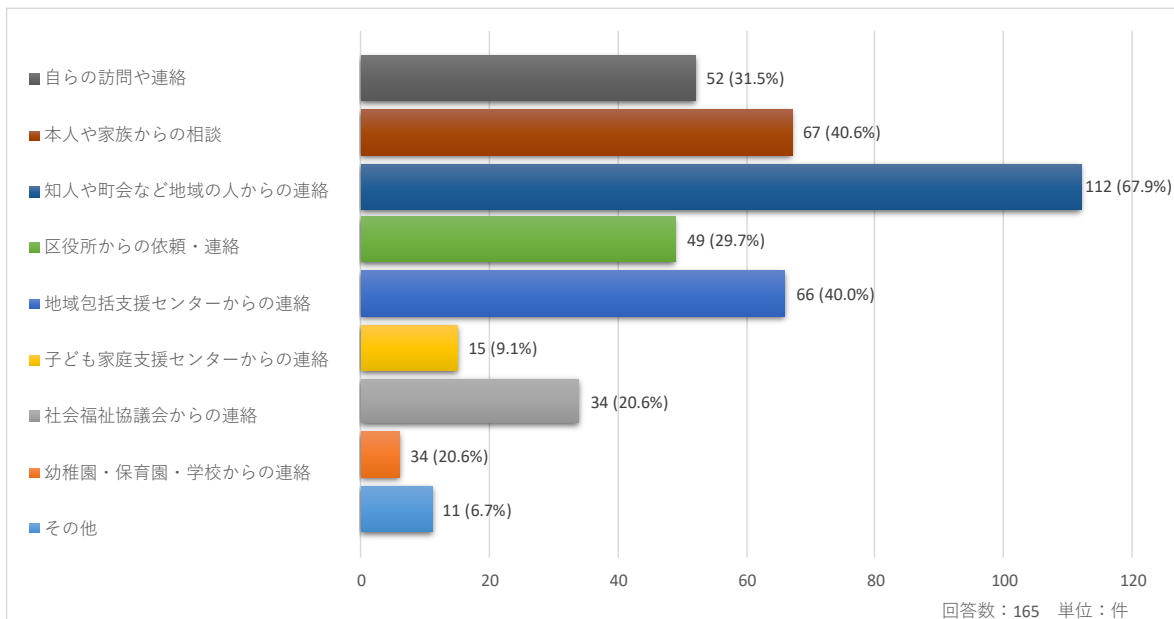
#### 設問1：担当している地域は、どちらですか。



#### 設問2：相談を受ける主なきっかけは何ですか。(複数選択可)

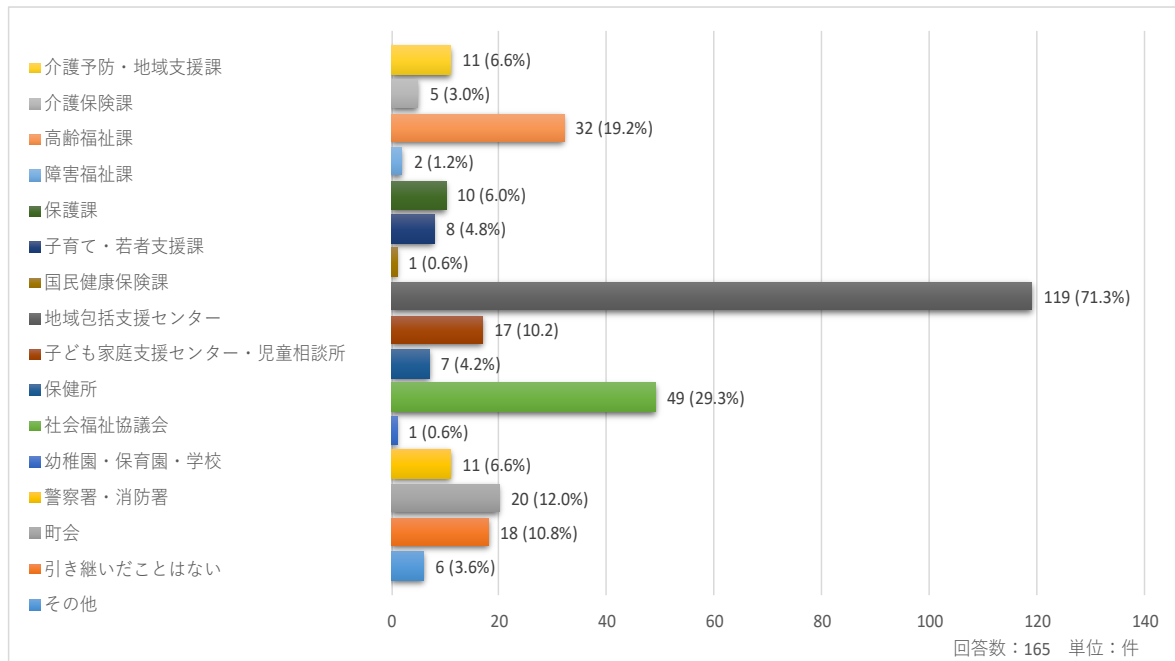
▶ 「知人や町会など地域の人からの連絡」が112件、「本人や家族からの相談」「地域包括支援センターからの連絡」がそれぞれ60件を超え、連絡から相談に繋がっています。

また、一方で民生委員の3割が「自らの訪問や連絡」がきっかけになっていると回答しています。



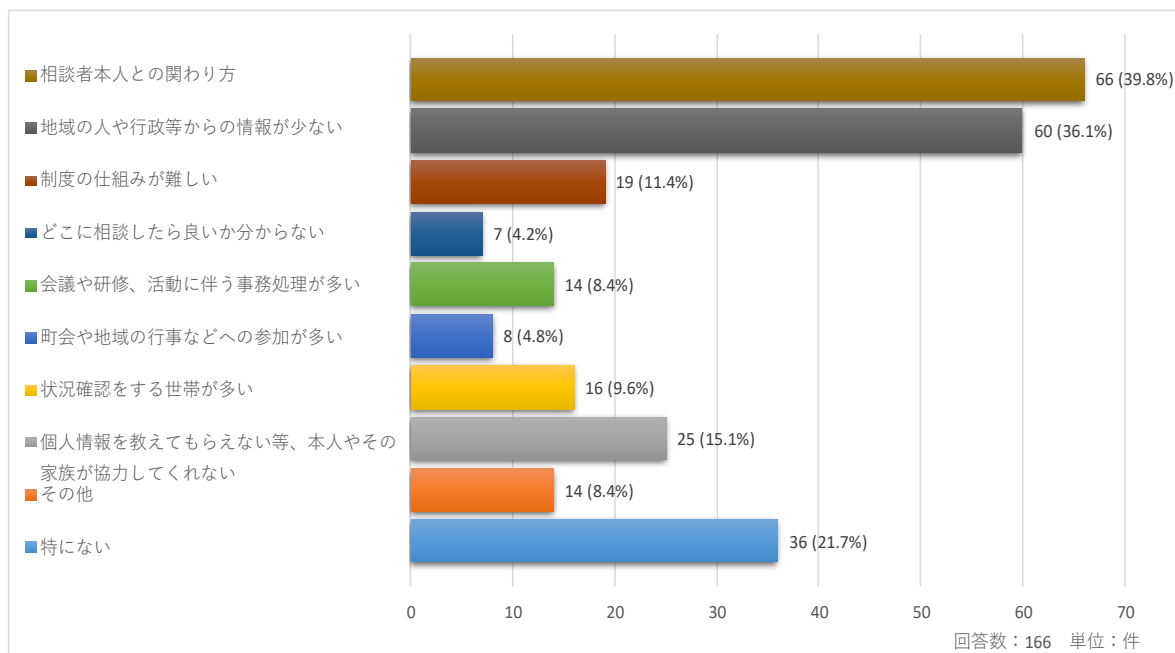
**設問3：あなたが受けた相談は、主にどの関係機関に引き継ぎましたか。（複数選択可）**

▶「地域包括支援センター」が119件であり、回答者の7割以上を占めています。



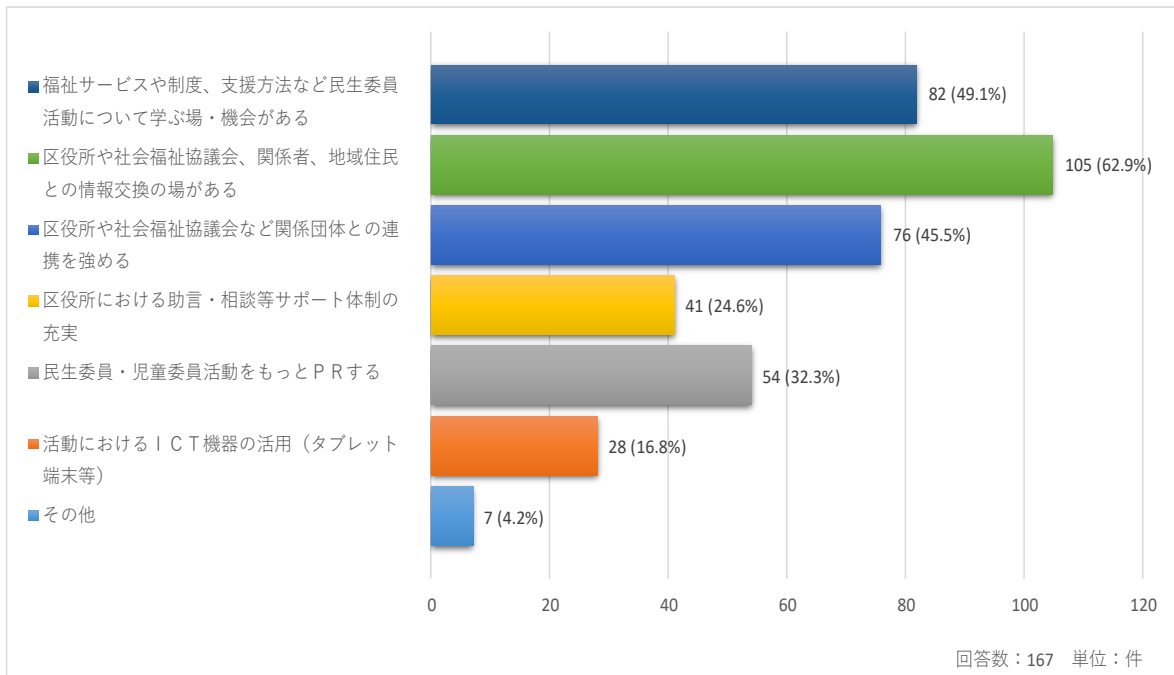
**設問4：民生委員・児童委員の活動の中で、どのような悩みや苦勞を感じていますか。（複数選択可）**

▶「相談者本人との関わり方」「地域の人や行政からの情報が少ない」が回答者の4割弱となった一方で、「特にない」は約2割となった。



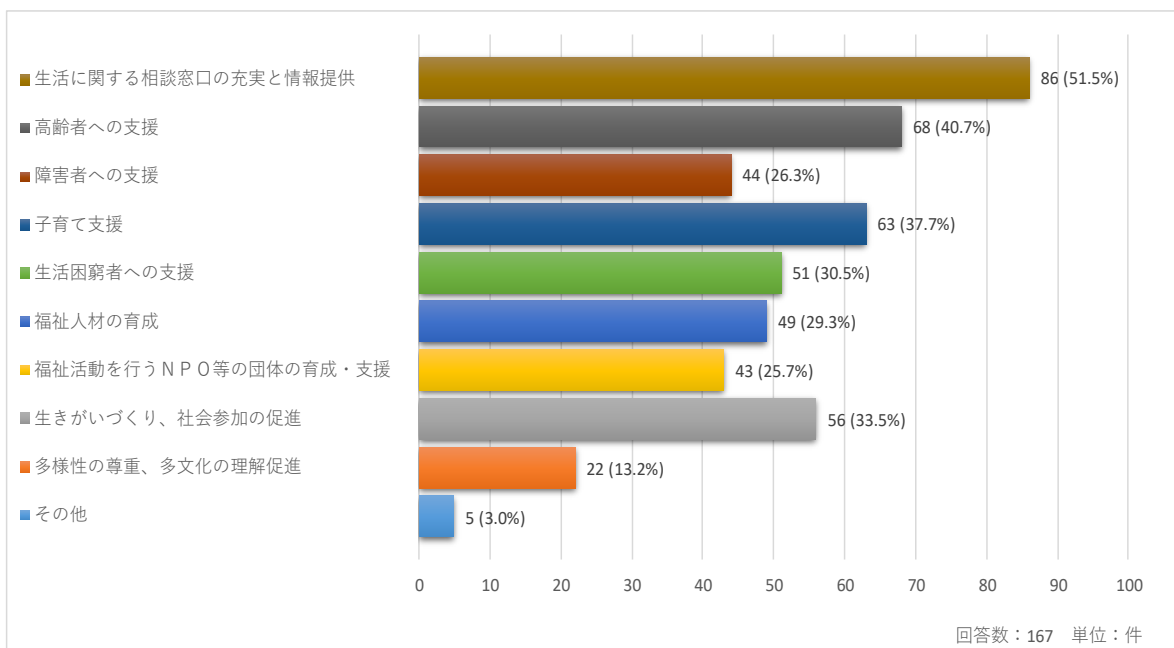
**設問5：民生委員・児童委員が活動しやすくなるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（3つまで選択）**

▶ 「区役所や社会福祉協議会、関係者、地域住民との情報交換の場がある」が105件と最も多くなっています。また、「福祉サービスや制度、支援方法など民生委員活動について学ぶ場・機会がある」が82件、「区役所や社会福祉協議会など関係団体との連携を強める」が76件と4割以上を占めています。



**設問6：安心して暮らせる台東区をつくるために、区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）**

▶ 「生活に関する相談窓口の充実と情報提供」が86件で回答者の半数を占めています。次いで「高齢者の支援」や「子育て支援」が比較的高くなっています。



設問7：民生委員・児童委員の活動の中で感じている課題などがありましたら、ご自由にお書きください。（主なご意見）

### 【民生委員・児童委員活動に関するご意見】

#### （1）関係機関との連携

① コロナ禍で学校行事等に参加できず、子供の様子を見る機会が減ってしまい、小学校との連携が取りづらいです。定期的に学校との連携が取れるようになるといいと思いました。

② 子育て支援などで相談があった時に学校や幼稚園や保育所からの情報が全くと言えるほど入ってこないのので、どう接して良いか難しいので区から情報を開示していただけるようにしてもらいたい。

③ コロナ禍の為、活動が少なくなっていますが、学校訪問にて情報収集するも思う様にいかず、学校との連携をもっと図りたいと思っていますが、情報の取り方が難しいです。

④ 相談内容に応じて、適した関係機関がどこなのか迷う。

⑤ ヘルパーさんやコーディネーターさんがいらっしゃるのので、私の祖父母の頃よりはお手伝いすることが少なくなっているような気がします。私の住んでいるところは、まったく一人暮らしという方が少ないと思います。マンションに住んでいる方がどうなっているのかは気になります。一人の方を関係機関につなげましたが、その後の情報が少ないような気がします。

⑥ 今までの活動の中では（数少ない）支援した後の事について、ほとんど情報をいただけなかった。解決した、しないに関らず途中経過でも知らせていただきたかった。個人情報の問題もあるので、どの程度まで民生委員が知るべきか難しいとは考えるが、民生委員が踏み込めない部分のほんの一部を任せられている立場のあり方は迷うところである。福祉について専門的に学んだわけではないので、1つ1つ対応が最善であったか。自問自答の繰り返しばかりで、民生委員としての役割を果たしているのかと疑問に思う。

⑦ 民生委員・児童委員となって日が浅いこと、コロナ禍で研修、関係団体との連携や情報交換の場が制限されていることから実際の活動ができていないので、悩みや苦勞を感じるほどの働きをしていないというのが、現実です。先輩の方々から体験談など伺う機会もなかなか今は難しいですが、新人の立場だからこそその視点での疑問や提案がこれから先できればいいかなと思っています。

⑧ 現在進行形ですが、災害における町内の防災と民生委員の関わりについて、社協コーディネーターとともに見える化活動に取り組んでいます。課題を感じたらまず相談することから進めることが大切かと思えます。

⑨ コロナ禍で中々活動ができていない。町会とよく連携をとって情報を共有していきたい。

⑩ 2年半以上続きコロナ禍で地域の人と交流がほとんどなくなってしまった。情報が入らない。実態がつかめない。いろいろと悩みを抱えているご家族があると思いますので、町会との情報交換をしながら家庭訪問をしたいと思っています。

⑪ コロナ禍でなかなか活動できないことに戸惑っています。しかし相談は多くその都度話し合っていますが、なかなか一人の力ではどうにもなりません。地域包括センターへの連絡等に頼っています。

⑫ 学校において、不登校のお子さんや、いじめ等で問題を感じているお子さんがどのくらいいるのか、いつでも状況や人数を公表してくれるといいと思っています。

⑬ 福祉に関係する各種の助成制度を案内できる場や活動がほとんどないように感じます。

## (2) 民生委員・児童委員の確保・育成

① 核家族化が進んでしまって、子と高齢の親が住まなくなっているなどそんなことが多く見られ、それに伴う諸問題が起きています。予防的な活動をしたいのは山々ですが、なかなか難しいところです。ことが起きた時対処をそれぞれ専門係部署へ速やかにつなげる為の知識を培っていくことが大切だと思っています。

② 民生委員のなり手不足、高齢化。高齢化によるデジタル化への難しさ。

③ 民生委員のなり手がいない。後任を探すのに苦労している。

④ 私自身が75才になり、引退を考えております。後任がはっきりまだ決まっていないことが心配であります。この年でこのお役目を延長してお受けする自信がありません。若い方たちに民生委員の役割を理解していただき、徐々にタツチ交代の準備を町会、役所含めてして頂ければあり難いと思えます。

⑤ 高齢者の一人暮らしが多く、亡くなれるとその跡地は売却されマンションや建売住宅が建ち、引っ越してくる人はほとんど若い人で、町会のことは無関心です。町会の役員や民生委員のなり手がありません。

⑥ 民生委員の会議や研修は極力少なくしてほしい。(書類などは郵送や研修はオンラインなど活用するなど)

⑦ 民生委員、児童委員はどんな活動をしているのか、他の地区の活動の事例、他区の事例などを教えてほしい。

⑧ どこまでどう活動したらいいのかよくわからないままに月日が経ってしまっている。コロナ禍の中での活動のあり方について、どんなことから始めていいのか、具体的に教えてほしい。ベテランの方が多いので、なかなか聞けない。なかなか相手の顔も分からずにどこまでやるのかなかなかできないと言っても、それは仕方がないよねと言われることも多く、このコロナ禍の中で具体的にやれる第一歩を区から区の担当者に教えてもらいたい。

⑨ 調査書の書き方、例題をもっと教えてほしい。民生委員としてベテランであっても、自分が経験などなければ相談に乗ることが難しい。地区によっては事例がない場合もあり、相談にのってあげられないことがある。年に数回でよいので勉強会があると嬉しい。

⑩ コロナの影響で研修会がほとんど中止になりました。民生委員の役割を理解できないまま現在に至りました。近々研修会を開いてほしいです。

⑪ 民生委員になりたての時に、専門用語(例えば民児協とか社協)など使用して説明されている時など、意味がよく理解できなかったことがあったので、ちょっと注意して説明頂けるとよかったですと思いました。

⑫ 新任して間もなくしてコロナ禍となり、あまり研修がされないまま今になっております。まだ一度も相談を受けておりません。

⑬ 10年以上民生委員をしているが生活保護について説明を受けたことがない。情報も開示されない。民生委員法にも明示されているように、生保は民生委員の重要な点であるので問題だと思う。



⑭ コロナ禍でこちらの方から能動的な活動ができていない。

⑮ コロナ禍での活動が難しく、暫くは訪問せず電話での対応をとらせていただきます。活動記録の記入方法が難しいです。

### (3) 民生委員・児童委員のPR

① 主任児童委員というもの自体を知らない人が多いように思います。もう少し気軽に相談してもらえ立場になれたらいいなと思います。

② 民生委員って何する人なのとよく聞かれます。現在テレビCMが放映されていますが、見る機会が少なく、CM時間も短いことからあまり浸透されていないように思います。中には身の回りのことは何でもやってくれると思っている方もいらっしゃいます。また、家の中を見られたくないことを理由に介護サービスを拒否する方がいるのも事実です。私も町会役員を兼ねていることから日頃顔を合わせる方も多く、活動の線引きが難しいところです。

③ 自分が民生委員になる前は民生委員の活動について、全く知らなかった。

④ ほかの住民も民生委員って何をしている人なのか、知らない人が多いと思う。

⑤ 高齢者は、民生委員の認知度が高いと思う。台東区（役所）は民生委員に何を求めているのか。

⑥ 民生委員って何と思っている人が多い。もっと存在を知ってほしい。

⑦ 民生委員・児童委員が、各町会に何故いるのかをもう少しわかりやすく街のみなさんに知っていただけたら。テレビもCMよかったですね。

⑧ コロナ禍のこの数年、町会行事や祭りなどもないため、対象者の方たちと自然に顔を合わせて話をして、民生委員としての私の顔を覚えていただく機会がないことが、とても残念に思います。

⑨ ヤングケアラーが問題になっているが、私たちにはなかなか見えてこない。TV等でどこに相談したら良いか分からなかった又他人にそんなことを言って良いのかわからなかったと聞きました。学校の全校生徒集会や保護者の全員の集まりのとき等に民生委員活動の説明する機会があればと思います。

#### (4) 支援が必要な人との関係づくり

- ① この頃民生委員の役割が分からなくなってきました。個人で福祉支援サービスを利用されている方もいらっしゃるして、民生委員という委員との関わりを持ちたくないと考えている方もいらっしゃるようです。
- ② 介護保険を使って自宅にいる人の把握ができていない。情報・状況として知りたい。
- ③ この人は支援が必要ではないだろうと思われる人にも家族がいて、家族間で解決しようとして外部の意見を聞いてくれない。
- ④ 男性相談者の場合、よほど重大でないとなかなか相談してくれない。個人情報との関係でなかなか深い話がしづらい。
- ⑤ 個人情報厳しく情報を得るのも大変。
- ⑥ 台東区は下町でご近所との繋がりが濃く、強い地域であるため、高齢者は近所の友人同士で相談して良くも悪くも解決できてしまっている。そのなかで民生委員が介入できる余地があるか。
- ⑦ 台東区は23区で一番小さいですが、地域によって問題も課題も違うように感じます。相談したくても誰に聞いたらいいか、どこに相談したらいいか分からず、悩んでいる区民もいらっしゃると思います。そのような区民とどうしたらつながりをもてるか。
- ⑧ コロナ禍において、高齢者、障害者等とのふれ合う機会が少なくなっており、各々の状況把握が難しくなっています。今後より工夫が大切だと思います。
- ⑨ 支援の対象となる方との関わりが長期間になり、先が見えない。
- ⑩ コロナ禍の中で、ラジオ体操等に参加して高齢者と知り合いになるように努めているがよく考えるとそのような参加者は元気なお年寄りが中心。なかなか困窮者（お年寄り）を見つけるのは難しく思う。
- ⑪ 高齢の方は他人に迷惑をかけたくないという思いを強く持っている方が多いように思います。そのような方々と日頃から話しやすい関係を築いていきたいと思いますがコロナ禍ではなかなか難しいです。

⑫ 高齢者にコロナ禍でどのように対応すればいいか迷いましたが、訪問は週 1 回くらいにして表で話したり、窓越しに声をかけたりしましたが難しかった。

⑬ マンションが増え、生活の様子を伺うことも難しくなってきました。また、コロナの中で訪問活動も十分にできていません

⑭ マンション等家に行きづらくなっている。仕事をしながら民生委員活動は動きづらい。店や業務等休むことがある。

⑮ 町会の住民がだんだん少なくなり、情報も少なくなる。

## (5) その他

① 名簿の扱い（緊急避難名簿）が難しい。

② 私は民生委員の持っている能力は長年、その地域に住んで、街の変化を見てきた人々だから分かる「目」を持っていることだと思っています。その「目」が届きづらくなりました。

③ 個人情報の扱いの徹底の問題

④ 相談を受けたことがほとんどありません。困っている方は地域によって違いがあると思いますので、人員の配置などの工夫が必要なのではないでしょうか。

⑤ 認知症のある地域での見守りについて、日本社会事業大学社会福祉学部の下垣光先生の資料を町会に話したらいかがですか。民生委員だけでは見守れません。

⑥ 仕事を持っているため、民生委員の活動は難しいが仕事との両立を考えて行っている。

⑦ 仕事をしているので時間に制限がある。

⑧ 担当区域が実情と合わなくなっているところがあるような気がします。町会とも違い世帯数も委員により違い、負担の差が感じられる。簡単に変更できないとは思いますが、このような区割になった経緯だけでも知りたい。

⑨ 民生委員になったと同時にコロナが始まり、あいさつも出来ないまま時間が過ぎてしまい退任することになり心苦しい限りです。

## 【民生委員・児童委員活動以外のご意見】

① 区役所の福祉課や地域包括支援センター、子ども家庭支援センター、児童相談所、社会福祉協議会等の役割や仕事内容が詳しくわからない。

② 我々の住んでいる地域もマンションがどんどん建てられ昔の下町の生活状況とは随分変化しています。自分たちの生活が大切であるのは十分理解できるのですが、無関心になりつつある様子に感じられます。なにげない人々の見守りで助けてあげられることが多くあります。人々のつながりを密にしていく必要があるように感じます。

③ 数年前に「豊島区の消滅可能性都市」ショックがあったが、ワンルーム（単身世帯住宅・狭小住宅）を多く占めたマンション、将来高齢者問題発生しないだろうか。

④ 問6を回答するなかで将来（未来）をイメージすると、自分は高齢者になり身体が不自由になるかもしれないし、自分の住むマンションは段々といろいろな国の人が住むようになっていて、それが加速するかもしれないと思ったりもした。同じ悩みを持つ人だけくくると気が重くなりがちですが、それを個性として分けずに一緒に集まれたならお互いに尊重が生まれ、いたわりあうことができるのではないのでしょうか。だいぶ冒険的ですが、多様性の広場みたいな機会を呼び掛けてコミュニケーションを図りたいです。（夢）

⑤ 私の地域は昼間人口が多いですが、夜になると住んでいる方が少なくなりました。賃貸マンションにお住まいの方は町会のイベントにも出て見えない方が多く町会の役員さんを決めるのも苦労されているようです。

⑥ 他区に比べ、台東区は子供の支援が少なく子供が育てられないと他の区に引っ越しする若い家族が増えています。気になります。

⑦ 小学校と児童館との場所が離れているため、利用しづらい。児童館のそばに公園や広場があったら子供たちは外でも走り回れることができ、楽しいと思います。

⑧ 出産後のお子さんの定期健診時に、子供の状態だけでなく母親の体調や、子育てに関する悩み・ストレス・不安などあらゆることの話聞いてあげられる場を作ってあげられたらいいと思います。わざわざではなく、自動的にお母さんのカウンセリングもしてあげられるような軽いイメージで。

- ⑨ 町会地区と担当地区が一致していない。町会の中で2つの地区にまたがっている。
- ⑩ 就学に関する支援や、生活保護を受けることについての拘りや羞恥心等をなるべく持たずに、適切に、ある意味事務的に手続きできるような環境が整えられればよいと思います。
- ⑪ 介護保険を利用していない高齢者の QOL を維持する為の場所作りや支援が必要と感じています。（老人会に参加なさらない方々の受け皿になるもの）
- ⑫ 町会役員の超高齢化。
- ⑬ 近年横行している高齢者への悪質商法や虐待防止に取り組み、災害時に備えた要援護者に対する普段からの想定をしておくこと。
- ⑭ 地域の産業商店街の衰退、その跡地が住宅化（高層化）
- ⑮ 少子高齢化社会。